# BUSINESS PROFILE

http://www.stknet.co.jp/

2019.07

安全・安心・信頼　そして未来へ

新生テクノス株式会社

# 安全・安心・信頼　そして未来へ

Company Message

当社のルーツを辿れば、太平洋戦争の戦災で疲弊した日本の鉄道の復興を目指して、外地の鉄道で活躍していた電気技術者が中心となって1947年（昭和22年）5月に設立した新生電業（株）まで遡ります。

戦災からの復興に始まり、高度経済成長に伴う鉄道輸送力の増強、官公庁や民間の電気設備工事への拡大等、社会の要請に応え続けた歴史の先に、国鉄改革に伴うJR各社の発足とその後の成長があった訳ですが、このことは新生電業（株）の事業展開の大きな転機となりました。やがて1996年（平成8年）4月、新生電業（株）はジェイアール東海電気工事（株）と合併し、新生テクノス（株）という新しい社名で再スタートを切ることとなりました。爾来当社は、JR東海グループの一員としてJR東海の電気設備の工事・保守を主体的に担うとともに、全国展開する電設会社として多岐に亘る工事を通じて、世の中に貢献してまいりました。

当社は社是を「安全最優先」と定め、安全を第一に考えて企業活動を続けてまいります。また、企業理念を「工事・保守を通じて、日本の大動脈と社会の発展に貢献する」とし、東海道新幹線をはじめとした既存鉄道の安全・安定輸送の確保のための工事・保守や日本の大動脈となる中央新幹線の建設等を進めていくとともに、全国の総合設備工事も積極的に行ってまいります。これからも、JR東海グループの一員として、当社の得意とする電気設備工事及び保守の業務を安全に遂行することにより、施主様、お客様からの安心、信頼を得てご負託にお応えするとともに、日本の社会全体の発展に貢献してまいります。

新生テクノス株式会社
代表取締役社長
**長田 豊**

## 社　是

**安全最優先**

## 企業理念

工事・保守を通じて、
日本の大動脈と社会の発展に貢献する

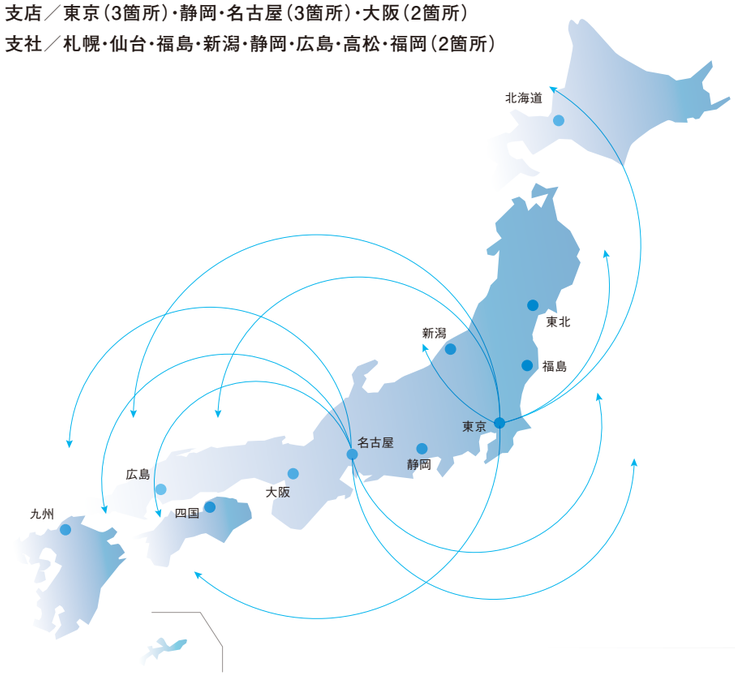
## 行動指針

1. 安全最優先で行動します
2. お客様のニーズに誠実に応えます
3. 知識と技術・技能の研鑽につとめます
4. よく考え、工夫し、行動に移します
5. 相互に連携し、一人ひとりが職責を果たします

## 営業拠点

### 新生テクノスは日本全国で事業展開中

本店／東京・名古屋
支店／東京（3箇所）・静岡・名古屋（3箇所）・大阪（2箇所）
支社／札幌・仙台・福島・新潟・静岡・広島・高松・福岡（2箇所）




## 営業品目

1. 発変電所、送電線路、配電線路、電車線路、電灯電力設備、信号保安設備等の設計・施工及び保守管理

2. 光ケーブル、データ通信設備、監視カメラ設備、CATV設備、LAN設備、放送設備、無線設備等情報通信分野の設計・施工及び保守管理

3. 空気調和設備・給排水設備等の設計・施工及び保守管理

4. 各種プラント及び原子力発電設備の機械設備・電気計装設備、塗装工事等の設計・施工及び保守管理

5. 防災設備、自動火災報知設備、予備電源設備等の設計・施工及び保守管理

6. 太陽光発電、風力発電、小水力発電、バイオマス発電等の再生可能エネルギーの設計・施工及び保守管理

7. 各前号の工事に関連する調査、診断、技術提案及びコンサルティング、並びにリニューアル設計・施工

Company History

# 沿革

**1947年**（昭和22年）
5月8日　**新生電業株式会社**（以下新生電業）会社設立登記完了
商号：新生電業株式会社　本店：東京都台東区同朋町4番地
資本金：190,000円

**1948年**（昭和23年）
3月30日　臨時株主総会を丸ビル本店にて開催
11月10日 会社マークを制定

**1949年**（昭和24年）
10月21日 建設業法施行に伴いはじめて建設登録を受ける 建設大臣（イ）第556号

**1952年**（昭和27年）
6月1日　新生電業共済会創設、規約制定

**1954年**（昭和29年）
3月13日　本店を東京都千代田区大手町興農会館に移転

**1957年**（昭和32年）
11月18日 創立10周年式典を本店で開催し初の10年勤続表彰を行う

**1960年**（昭和35年）
4月27日　東宮御所新築電気設備工事施工において
建設大臣および宮内庁長官よりそれぞれ感謝状を受く

**1976年**（昭和51年）
11月26日「塗装工事業」の許可取得

**1981年**（昭和56年）
7月10日　**電気整備工業株式会社**（以下DSK）会社設立登記完了（登記事項）
商号：電気整備工業株式会社　本店：名古屋市中村区井深町
資本金：3,000万円
8月24日　**DSK** 愛知県知事から建設業許可取得（電気工事業及び電気通信工事業）

**1982年**（昭和57年）
8月9日　**新生電業** 本店を東京都港区芝公園秀和芝パークビルへ移転
2月19日　**DSK** 愛知県知事から建設業許可取得（消防設備工事業）

**1989年**（平成元年）
1月11日　**DSK** 商号を**ジェイアール東海電気工事株式会社**（以下JRTD）に変更登記

**1995年**（平成7年）
12月7日　**新生電業** JRTDとの合併契約調印
12月7日　**JRTD** 新生電業との合併契約調印

**1996年**（平成8年）
4月1日　**新生テクノス株式会社**
両社の合併により"新生テクノス株式会社"発足

**1999年**（平成11年）
12月12日 大阪新幹線支店を大阪市北区豊崎へ移転

**2000年**（平成12年）
2月1日　本店（名古屋）および中部支店をJRセントラルタワーズ22階へ移転

**2001年**（平成13年）
10月15日 東京新幹線支店を東京都品川区東五反田へ移転

**2004年**（平成16年）
5月6日　名古屋新幹線支店を名古屋セントラルタワーズ22階へ移転
6月21日　東京支店を東京都港区東新橋へ移転

**2005年**（平成17年）
8月1日　東京新幹線支店を東京都港区港南JR東海品川ビルB棟5階へ移転

**2006年**（平成18年）
11月1日　新経営情報システム運用開始およびワークフローシステムを導入

**2007年**（平成19年）
4月1日　新生テクノス企業行動規範制定

**2009年**（平成21年）
12月28日 東京支店を東京都港区赤羽橋へ移転

**2015年**（平成27年）
5月7日　東京支店を東京都港区東新橋へ移転

**2017年**（平成29年）
5月8日　創立70周年記念を迎える

**2018年**（平成30年）
5月7日　本店をG-BASE田町16階・17階へ移転
10月29日「解体工事業」の許可取得

東海道本線草薙・静岡間電化柱建植

三宅坂ICケーブル搬入作業

東京駅に初乗り入れしたO系新幹線

東宮御所新築電気設備工事施工

荻窪ステーションビル

本店が設けられた東京秀和芝パークビル

JRセントラルタワーズ

品川駅開業

創立70周年記念式典

リニア鉄道館

G-BASE田町

# Business Field

新生テクノスは総合設備工事会社として、ビル建築、鉄道を始めとした交通インフラ、情報通信、
太陽光発電などの分野において、次の時代に必要とされる社会インフラ整備のさらなる成長を支えています。

● 新築時から維持・改修まで建物の一生を一貫してサポートし、時代と共に移り変わる顧客ニーズに応えます。

**設計積算**

法令や顧客ニーズに基づきながら電気設備を設計し、また材料の種別数量を算出、必要な工事費の見積りを算出します。

**施工管理**

決められた工期内に安全最優先で建築現場をとりまとめ、様々な電気設備を構築、ビルや街を作り上げ社会に貢献します。

**メンテナンス**

停電・落雷などの災害に対して、防災設備が非常時に確実に作動するよう維持管理を行い、性能や機能を常に保つ仕事です。

**診断分析**

時代と共に移りゆく社会的ニーズや、お客様個々のニーズに現状が対応しているか、定期的な診断を行います。

**リニューアル**

電気設備に求められる機能性能も絶えず進化します。初期性能を維持すると共に、付加価値の高いリニューアルを提案します。

**ソリューション**

省エネ・節電、停電対策、地震対策等…お客様からの疑問・要望等に対し、確かな実績と技術で応えます。

※このイラストレーションは新生テクノスの事業フィールドを紹介するためのイメージであり、実際とは異なります。

# 建物の電気設備も、新生テクノス。

街の生活基盤となる建築電気設備の施工を手掛け、70年の長きにわたり様々な建造物に電気設備の息吹を与えてきました。
強電・弱電ともに、洗練された技術と蓄積されたノウハウで、利用者に快適な空間と利便性高いシステムを提供します。
新築からメンテナンス・リニューアルに至るまで、一貫して電気設備をライフコントロールします。

※オフィスビル内において、テクノスが手掛けるものをイメージで紹介しています。

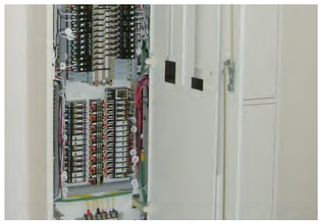
## ［強電］

### 受変電設備
電力会社から供給される電気（高圧）をビル内で使用出来る電圧（低圧）に変圧配電する設備です。

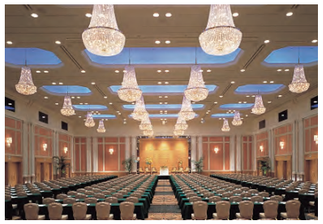
### 自家発電設備
電力会社からの電力が停電したときに自ら発電し、ビル内に必要な電力を供給する設備です。

### 蓄電池設備
非常照明や受変電設備の操作電源、情報通信設備に無瞬断で電力供給する設備です。

### 幹線設備
受変電設備で変圧した電力を建物内の各部に送電する設備です。



### 電灯分電盤・動力制御盤
ブレーカやリレーの集合体であり、幹線設備と照明やコンセント、各電気設備を繋ぐ設備です。



### 照明設備
室内に明かりを灯し、空間をさまざまな雰囲気に演出する設備です。

## ［弱電］

### 中央監視設備
エレベータやポンプ類など、ビル内の様々な機器を一括監視・制御する設備です。

### 電話・LAN設備
電話・LAN・サーバなどの情報端末を構内や外部（インターネット）と接続する設備です。

### 放送設備
構内に設置されたスピーカに音声や音楽を流すための設備です。非常時には避難誘導用の設備となります。

### ITVカメラ設備
建物内の状態を常に監視・録画し、万が一不審者が居た場合などしっかり録画し、問題解決に繋げます。

### テレビ共同受信設備
建物内のテレビ受信のための設備です。地上波の他、BS・CSなどを混合し構内配信します。

### 自動火災報知設備
火災発生を自動で検知し、建物内の人々にいち早く知らせると共に、防火シャッターなどを連動させる設備です。

# 総合設備工事 施工事例

物件が大型化するなか、JV（ジョイントベンチャー）工事にも盛んに取り組み、一部はJVスポンサーとして工事全体を管理しています。
LED照明が広く普及し、省エネ性や操作性が格段に向上、地球温暖化防止対策に貢献しています。
また東日本大震災を経て防災設備・自家発電設備・蓄電池設備に対する要求仕様が変わり、それらを反映した建物が主流となりました。
新生テクノスは長年培われた技術力・施工力で、これからも日本の未来ある街づくりに貢献します。

## 文化交流施設

### みなとパーク芝浦 介護予防総合センター（工期：2014/10～2015/03）

施設内に設置された「スマートエネルギーネットワーク・エネルギーマネジメントシステム」により、エネルギーの最適需給制御を行っている。日差し制御や自然換気、LED照明などを採用し、環境や省エネに配慮された施設となっている。東日本大震災後に設計が見直され、防災機能が強化されたことにより地域防災拠点の要となっている。

■施設場所：東京都港区芝浦　■延床面積：50,724.9m²　■受電方式：22kV 3回線スポットネットワーク受電　■設備容量：7,550kVA
■発電設備：ガスタービン発電機1000ｋVA×2台、太陽光発電、風力発電　■JV構成:きんでん・新生・西山・大三洋行電気工事共同企業体　■当社比率：20%

### 久留米シティプラザ ９番街区（工期：2013/09～2015/11）

9番街区の会議スペースは、会議・コンベンションと用途に応じてレイアウト変更出来る仕様となっており、設置されたLED照明により調光（照明の明るさを可変させる）や調色（照明の色を可変させる）が可能である。夜はライトアップで演出され、久留米市のシンボル的な建物となっている。

■施設場所：福岡県久留米市　■延床面積：10,829.89m²　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：1,375kVA　■発電設備：ガスタービン発電機750kVA
■JV構成：新生・久富・西日本電気工事建設共同企業体　■当社比率：50%

### 尾張一宮駅前ビル iビル（工期：2010/10～2012/09）

繊維産業で栄えた一宮市を象徴する反物を模した装飾の外観の中に、市が運営する支援施設、図書館、開放的なシビックテラス、催事場が納められている。図書館においては、間接照明とモダンなデザインのペンダント照明が柔らかく落ち着きを生み出している。

■施設場所：愛知県一宮市　■延床面積：21,429m²　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：2,750kVA ■発電設備：ディーゼル発電機400kVA、太陽光発電装置10KW

## 庁舎

### 清須市役所（工期：2015/08～2017/01）

増築された新庁舎は、1階が免震構造になっており、電力会社より2回線受電並びに太陽光蓄電設備を備えることにより、災害時にも電力供給可能な設備を有している。LED照明はセンサーによる調光制御を行い、入退室管理システムとして情報表示設備を備えている。

■施設場所：愛知県清須市　■延床面積：6,625.63m²（増築）5,497.49m²（改築）　■受電方式：6kV 2回線受電（本線・予備線）　■設備容量：1,100kVA　■発電設備：ディーゼル発電機300kVA

### 大阪市水道局 北部水道センター（工期：2013/11～2017/01）

電気設備は増築棟にて高圧受電し、既存棟へ高圧で送電している。共用部のダウンライトは全てLED照明を採用。庁舎は24時間稼働のため、人感センサーで点灯制御するなど省エネ仕様となっている。

■施設場所：大阪府大阪市　■延床面積：2,302.38m²（増築棟）1,778.9m²（既存棟）
■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：550kVA　■発電設備：ディーゼル発電機90ｋVA

## 警察署

### 警視庁本所警察署庁舎（工期：2010/03～2012/12）

非常警報設備など警察署特有の設備に加え、寮も完備。72時間電力供給可能な非常用発電設備が設置され、非常時には防災拠点として機能する。

■施設場所：東京都墨田区　■延床面積：19,786.95m²
■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：2,100kVA　■発電設備：ディーゼル発電機500kVA
■JV構成：新生・豊国・中尾建設共同企業体　■当社比率：60%

### 大阪府豊中警察署（工期：2014/11～2016/09）

LED照明の導入やタイマー制御を行い省エネを実現。停電時には直流電源装置や非常用発電機により強固な電源バックアップを行う。

■施設場所：大阪府豊中市　■延床面積：6,147㎡（本館）1, 852m²（別館）
■設備項目：受変電、自家発電、直流電源、幹線動力、電灯コンセント、構内交換、拡声、時計、インターホン、テレビ共調、構内情報通信網、防災、警報表示、ITV、避雷針



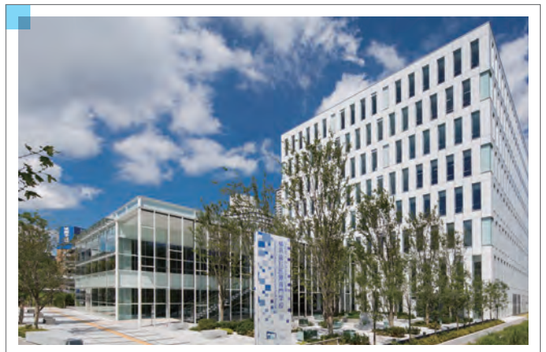
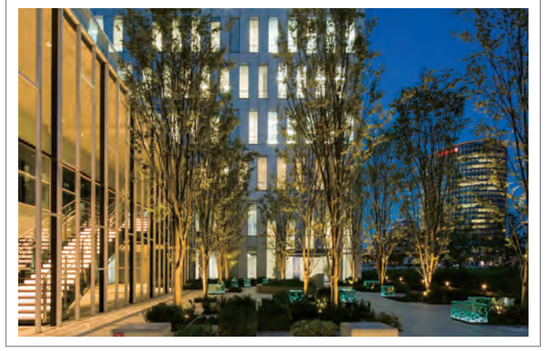
## 教育 / 研究施設

### 品川区立豊葉の杜学園（工期：2011/07～2013/03）

品川区で6校目となる小中一貫校。舞台照明や音響設備、アリーナやプールに付帯する特殊照明など、教育施設ならではの電気設備を設置。

■施設場所：東京都品川区　■延床面積：14,390. 64m²（北棟）6,978.95m²（南棟）
■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：1,940kVA（北棟南棟合計）
■発電設備：ディーゼル発電機36.2+52.7kVA　■JV構成：新生・沖・中尾建設共同企業体
■当社比率：60%

### みなとみらい学園ビル（横浜歯科医療専門学校）（工期：2015/06～2016/09）

開放感あふれる歯科医療のキャンパスのほかに、歯科クリニック、社会福祉事業所、物販店舗、ギャラリーなど併設する複合用途の建物となっている。

写真：©SS Co., Ltd

■施設場所：神奈川県横浜市　■延床面積：11,275.83m²　■受電方式：6kV 1回線受電
■設備容量：1,450kVA　■発電設備：ディーゼル発電機：130kVA、太陽光発電設備：2.5kW

### 大阪大学

M3棟は、周囲にある各工学部棟の主建物であり、各棟へ送電、情報ネットワークや電話設備のホスト的存在となっている。

■施設場所：大阪府吹田市　■延床面積：7,766m²（M1棟）6,809m²（M3棟）
■受電方式：6kV 1回線受電（M1棟）6kV 2回線受電（M3棟）
■設備容量：1,200kVA（M1棟）1,600kVA（M3棟）　■発電設備：太陽光発電設備 20kW

共用部は人感センサーで点灯・減光、研究室・講義室は昼光センサーで減光するなど、LED照明の導入と共に積極的な省エネを計っている。

■施設場所：大阪府吹田市
■延床面積：6,566.72m²　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：1,450kVA
■発電設備：太陽光発電設備 5.16kW

## 医療 / 福祉施設

### 広島大学病院 （工期：2009/12～2013/04）

太陽光発電、自然光の集光装置、雨水を再利用するトイレ洗浄水装置など、自然資源を有効活用するシステムを採用。阪神大震災クラスの地震に対応した免震装置も備え、電源も発電機系統を含む3回線受電で、万が一の災害時にも患者の生命を守る。

■施設場所：広島県広島市　■延床面積：38,560m² ■受電方式：6kV 一般系統2回線 発電系統1回線 3系統受電　■設備容量：12,450kVA
■JV構成:中電工・日本電設工業・新生テクノスJV　■当社比率：25%

### あいち小児保健医療総合センター （工期：2014/04～2015/09）

救急棟増築工事では電力供給安定化のため、電力引込を免震構造である救急棟の地下へ移設し、2回線受電としている。また停電への備えとして、4万ℓの発電機用燃料タンクを設置。

■施設場所：愛知県大府市　■延床面積：6,870m² ■受電方式：6kV 2回線受電（本線・予備線）
■設備容量：1,850kVA　■発電設備：ガスタービン発電機500kVA

### MOTETTO モテット名古屋 （工期：2015/01～2016/03）

付帯施設としてクリニック、調剤薬局、デイサービスレストランが完備され、住戸部分は高機能なセキュリティシステムで守られている。

■施設場所：愛知県名古屋市　■延床面積：8,406.91m² ■受電方式：6kV 1回線受電
■設備容量：700kVA　■発電設備：ディーゼル発電機105kVA



## スポーツ施設

### 春日市総合スポーツセンター （工期：2013/09～2015/10）

省エネ及び環境への配慮からLED照明を採用。メイン・サブアリーナのLED照明は、各種競技に必要な照度を確保しつつ、拡散カバーを取り付け、グレア（眩しさ）を低減している。その他フィットネスルーム、卓球場、武道場などがあり、地域交流、健康支援の拠点となっている。

■施設場所：福岡県春日市　■延床面積：20,660.95m² ■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：1,575 kVA　■発電設備：ディーゼル発電機550kVA
■JV構成：新生･第一電建･浜田建設共同企業体　■当社比率：50%

### 一宮市光明寺公園総合体育館 （工期：2008/11～2010/12）

アリーナは国際大会などの公式競技に対応したスペースが確保され、照明もバスケット、バレーボール等で求められている照度基準を満たした仕様となっている。灯具は電動昇降機付でランプの交換や故障対応等のメンテナンスが床面で出来る構造となっている。

■施設場所：愛知県一宮市　■延床面積：17,235.36m² ■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：2,300kVA　■発電設備：ディーゼル発電機350kVA
■JV構成：新生･浅海･五和 特定建設工事共同企業体　■当社比率：49.5%

## 卸売市場

### 東京都中央卸売市場　豊洲市場水産仲卸売場棟（工期：2014/06～2016/10）

別棟管理棟3階の特高変電所より2回線受電し、基幹・付帯施設用の受電用高圧開閉器盤を経て、9箇所の高圧受変電設備に電力供給している。また防災センター用無停電電源装置と防災用の非常用発電機を設置し、万全の停電対策を行っている。

■施設場所：東京都江東区　■延床面積：176,658m²　■受電方式：6kV 2回線受電　■設備容量：25,835kVA　■発電設備：ディーゼル発電機1,500kVA
■JV構成：きんでん・新生・旭日・大三洋行建設共同企業体　■当社比率：20%

### 地方卸売市場　塩竈市魚市場（工期：2015/02～2017/10）

マグロの水揚げをメインとした魚市場の為、荷さばき所の照明は色の見え方が自然で効率の良いLED照明（平均演色評価数：Ra＝95美光色、普通蛍光灯：Ra＝60程度）を採用している。また非常用発電機と太陽光発電設備を設置し災害時に備えた仕様となっている。

■施設場所：宮城県塩竈市　■延床面積：19,912.97m²（南棟）2,711.38m²（中央棟）　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：950kVA（南棟）450kVA（中央棟）
■発電設備：ディーゼル発電機300kVA 太陽光発電設備70kW

## オフィスビル

### コマツ小山工場開発センター（工期：2014/06～2015/06）

LED高効率照明器具「エコルミLED」を導入。一般的にオフィスで必要とされる照度700ルクスを維持しながら、消費電力及びランニングコストを従来の蛍光灯より55%も低減。

■施設場所：栃木県小山市　■延床面積：12,639.76m²

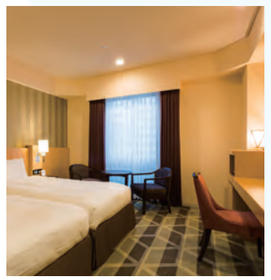
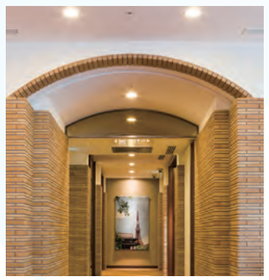
### サンポークリエイト本社ビル（工期：2016/04～2017/02）

1、2階店舗、3～6階が事務所となっており、外壁に木目が出る型枠を使用し、ライトアップで建物を際立たせている。

■施設場所：広島県広島市　■延床面積：1,634.85m²
■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：208kVA

## ホテル

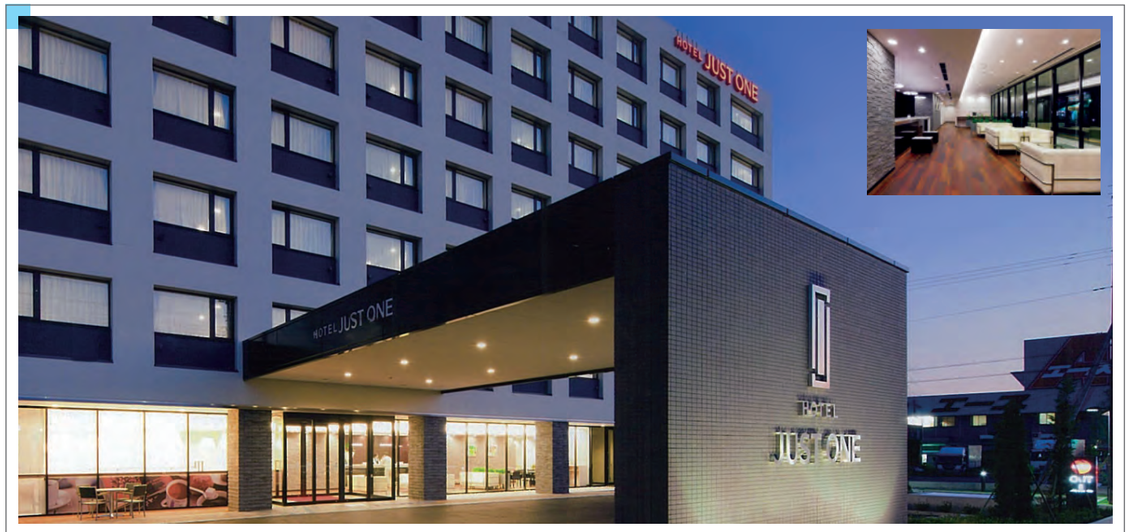
### 芝パークホテル（工期：2015/07～2016/07）

1948年貿易庁管理の下、外国貿易使節団ホテルとして「芝パークホテル」の運営が始まり、翌1949年民営化され「株式会社 芝パークホテル」となった。新しく建て替えられた本館は、客室70室及びレストランを有している。

■施設場所：東京都港区　■延床面積：4,272m$^2$　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：1,150kVA　■発電設備：ディーゼル発電機300kVA

### ホテルジャストワン（工期：2010/10～2011/10）




富士山を眺望できるレストランを併設した都市型ホテルをコンセプトに、客室はインタネット・VODを備え基本照明をLED照明とし、カードキーによる退出時電源カットシステムを採用。共用部はロビーにWi-Fiを備え、照明制御は中央リモコン操作、タイマー制御等情報サービスや省エネに配慮した施設である。

■施設場所：静岡県裾野市　■延床面積：4,297.26m$^2$　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：774kVA　■発電設備：ディーゼル発電機30kVA



## 物流センター・プラント施設

### トムス 岐阜本社オペレーションセンター（工期：2015/04～2016/02）

本施設は1・2階が保管倉庫、3階は製品加工場でTシャツ等に絵や文字を印刷している。電気設備は省エネ対策として、LED照明の導入の他、消し忘れ防止のための一括点滅スイッチや人感センサーを設けている。また高調波対策としてパッシブフィルターを設置している。

■施設場所：岐阜市柳津町　■延床面積：23,615.21m$^2$　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：3,600kVA

### 山神水道企業団浄水場（工期：2007/10～2013/03）

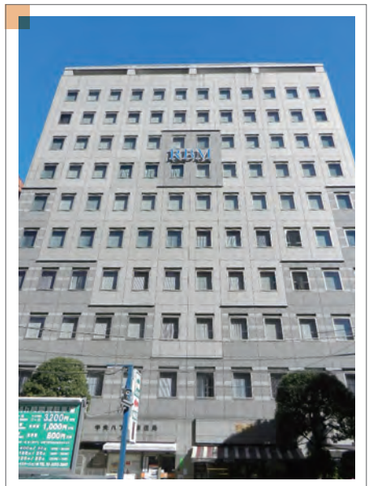
取水、薬注、薬品沈殿、ろ過、浄水、調整池、遠方監視と、ダムの取水から水道水へと浄水していく工程を担い、福岡県の各構成団体（筑紫野市、太宰府市、三井水道企業団）へ最大23,200m$^3$／日の送水を行うプラント施設である。

■施設場所：福岡県筑紫野市　■延床面積：1,062.428m$^2$　■受電方式：6kV 1回線受電　■設備容量：375kVA　■発電設備：ディーゼル発電機 250kVA

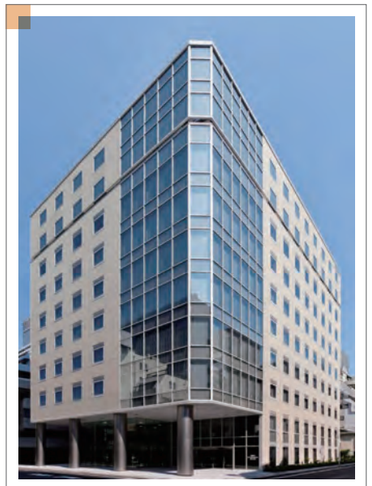
## ●RBM関係オフィスビル

RBM紀尾井町パークビル

RBM東八重洲ビル



RBM京橋ビル



前身である「秀和株式会社」の時代から約40年に亘って、RBM株式会社の大型ビルや大規模マンションの設計・施工・保守を行っている。ビルの現状回復工事、テナント改修工事、受変電設備や照明のリニューアル工事、防災設備の点検なども行う。リニューアルは、新耐震基準への対応の他、環境対策も考慮し照明器具のLED化、共用部やトイレの人感センサ化、事務室照明の消灯タイマー化など、省エネ工事を行っている。

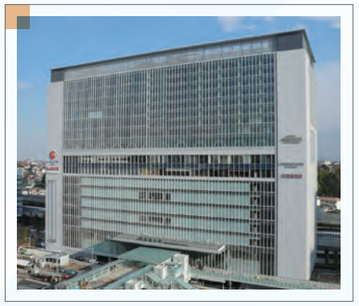
## ●JR東海グループ

当社は、JR東海グループ唯一の電気工事会社であり、グループ内各施設の維持・メンテナンスを行っている。
2000年に竣工したJRセントラルタワーズの設備点検やリニューアル工事を筆頭に、東海道新幹線の各主要駅に併設するモールや商業施設の電気設備の工事・保守を手掛け、訪れるお客様に快適なアメニティ空間を提供している。

JRセントラルタワーズ/JRゲートタワー

東京駅一番街

キュービックプラザ新横浜



ホテルアソシア新横浜

ホテルアソシア静岡

パルシェ（静岡駅）

アスティ静岡

浜松駅ビル メイワン

カルミア・ホテルアソシア豊橋

ゲートウォーク（名古屋駅）

名古屋マリオットアソシア

アスティ岐阜

アスティロード、八条小町・アスティスクエア（京都駅）

# エネルギー関連工事 施工事例

地球温暖化防止対策のため、化石燃料由来の電源から再生可能なエネルギーへの転換が求められる時代となりました。
中でも2012年7月より開始された「固定価格買取制度(FIT)※」により、太陽光発電は爆発的な普及となりました。
また原子力発電所をめぐる状況は2011年に発生した「東日本大震災」を機に大きな転機を迎え現在に至ります。

※固定価格買取制度(FIT)
電力会社に再生可能エネルギーで発電された電気を一定期間、固定価格で買い取ることを義務づけた制度

## 太陽光発電所

### 宇都宮下田原太陽光発電所 (工期:2013/03〜2013/12)

施地総面積102,800m²のゴルフ練習場跡地に3発電所を建設し、固定価格買取制度(FIT)に基づき売電を行っている。第一発電所から第三発電所まで合計1000アレイ(1アレイ:太陽電池モジュール28枚)が施設され、WEBカメラや遠方監視装置によって、遠隔からも状態監視が出来る仕様となっている。

■施設場所:栃木県宇都宮市　■パネル枚数:第一発電所/8,400枚　第二発電所/11,200枚　第三発電所/8,400枚　計28,000枚
■発電出力:第一発電所/1,500kW　第二発電所/1,990kW　第三発電所/1,500kW　計4.99kW

### 那須塩原青木太陽光発電所 (工期:2015/02〜2016/09)

地盤条件や建設コストを考慮し、キャストイン基礎で構築された太陽光発電所である。屋外キュービクルは必要最低換気量を確保した、粉塵や虫の入りにくい高気密な盤構造となっている。

■施設場所:栃木県那須塩原市　■パネル枚数:第一発電所/11,004枚　第二発電所/7,952枚　計18,956枚　■発電出力:第一発電所/2.7MW　第二発電所/1.95MW　計4.65MW



## 原子力発電所

当社は1973年以来、原子力発電所において、配管・サポート・機器据付工事や
電気工事等に携わると共に、補助ボイラー設備や電気・計装設備の点検等を実施しています。

### 島根原子力発電所

写真提供:中国電力

＜発電所概要＞
・中国電力㈱島根原子力発電所(1〜3号機)
■施設場所:島根県松江市
■炉　型:沸騰水型軽水炉(1・2号機)、
改良沸騰水型軽水炉(3号機)
■定格出力:46万kW(1号機)、82万kW(2号機)、
137.3万kW(3号機)

### 柏崎刈羽原子力発電所

写真提供:東京電力ホールディングス

＜発電所概要＞
・東京電力ホールディングス㈱柏崎刈羽原子力発電所
(1〜7号機)
■施設場所:新潟県柏崎市
■炉　型:沸騰水型軽水炉(1〜5号機)、
改良沸騰水型軽水炉(6・7号機)
■定格出力:110万kW(1〜5号機)、135.6万kW(6・7号機)

### 福島第一原子力発電所

写真提供:東京電力ホールディングス

＜発電所概要＞
・東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所
(1〜6号機)
■施設場所:福島県双葉郡　■炉型:沸騰水型軽水炉
■定格出力:46万kW(1号機)、78.4万kW(2〜5号機)、
110万kW(6号機)

### 福島第二原子力発電所

写真提供:東京電力ホールディングス

＜発電所概要＞
・東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所
(1〜4号機)
■施設場所:福島県双葉郡　■炉型:沸騰水型軽水炉
■定格出力:110万kW(1〜4号機)

# 情報通信インフラを構築し、高度情報化社会を創造する。

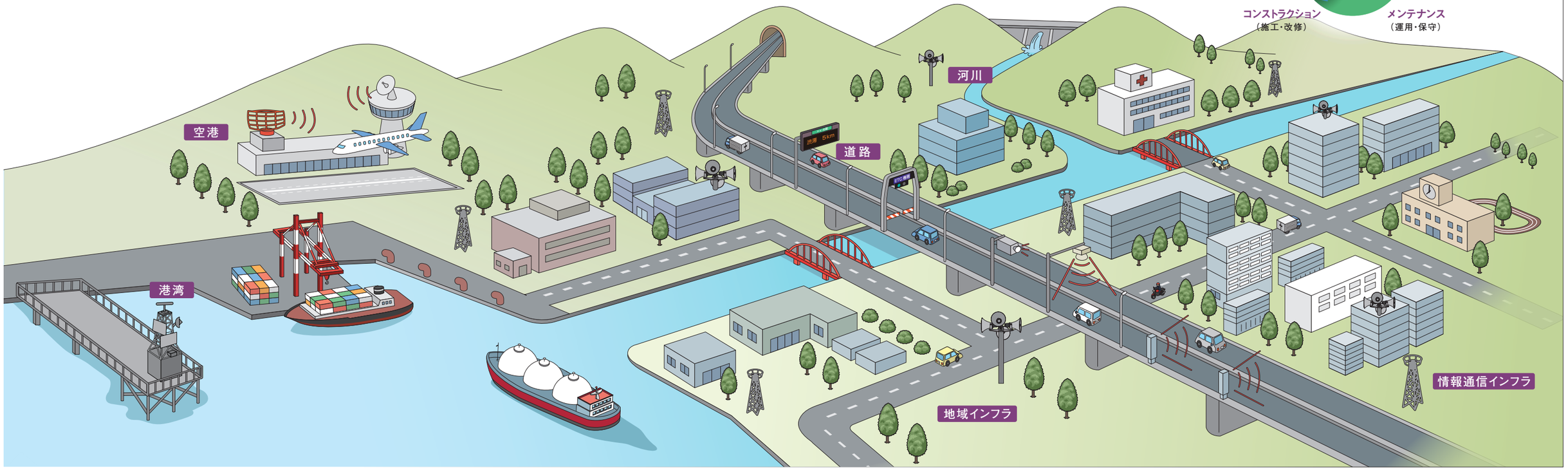
パソコンや携帯端末等の通信機器から全てのモノがNetに繋がる世界。新生テクノスは、情報通信環境においても
その構築と保守を手掛けています。ビル内LAN設備は基より、広域ネットワーク（WAN）の基盤となる光ケーブルの敷設、
マイクロ波・ミリ波レーダ、携帯電話基地局の設置など日本の情報通信インフラを支え続けて来ました。
更にIP電話からクラウドPBXへの移行、Iot（Internet of Things）を支えるセンシング技術、AI（人工知能）を用いて、
人々に利便性と安全で快適な暮らしを提供します。

コンサルティング
（計画・調査・設計）

情報通信システムの
提案から設計・施工・運用・
保守に至るまで、設備の
ライフサイクルに対応した
ソリューションを
ワンストップで提供します。

コンストラクション
（施工・改修）

メンテナンス
（運用・保守）



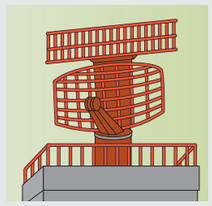

※このイラストレーションは新生テクノスの情報通信関連工事事業を紹介するためのイメージです。

## 情報通信 事業フィールド

### 空港保安施設

空港内外を監視・表示し、
航空機の運行を制御することより、
空の安全を確保しています。

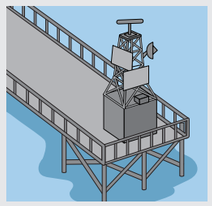
- 空港監視レーダー
- 航空路監視レーダー
- CCTV（監視カメラ）
- 無線標識



### 港湾監視設備

港湾内外を航行する船舶を把握し、
情報提供を行うことで、海と船舶の
安全を保ち、効率的な運航を実現します。

- レーダー
- 自動船舶識別装置（AIS）
- CCTV（監視カメラ）
- VHS無線電話
- 海上信号装置



### 道路管理設備

交通規制や渋滞情報、路面情報や
道路気象情報など、車の運転に必要な情報を
収集・提供し、有料道路運行システムは、
快適な道路運行に貢献しています。

- ETC
  （電子料金収受システム）
- ラジオ再放送設備
- 道路情報表示装置
- 道路ライブカメラ

### 河川管理設備

河川やダム、堤防の水位や雨量を測定し、
注意報・警戒情報を発することにより、
水害等の災害を防いでいます。

- 遠隔計測装置（テレメーター）
- 河川情報システム
- 水位警報装置
- 河川ライブカメラ

### 地域インフラ

防犯、防災及び
災害や緊急時に
情報の伝達や
広報を行います。

- 防災広報無線
- 防災行政無線
- 防犯警報装置
- 緊急通報装置
- センサーライト

### 情報通信インフラ

高度化・高速化・広域化された
情報通信ネットワークにより、
いつでもどこでも誰でも
シームレスに利用できる
高度情報化社会を支えています。

- IPネットワーク
  - IP-PBX・クラウドPBX
  - テレビ会議
  - ネットワークカメラ
  - 無線LAN（Wi-Fi）
  - 加入者系無線アクセス（FWA）
  - Bluetooth
- ネットワーク
  - 通信ケーブル
  - 光ケーブル
  - 多重無線
  - 光無線
  - CATV
  - 衛星通信
- 携帯電話ネットワーク
  - 携帯電話基地局

# 交通インフラ関連工事 施工事例

人々の生活を支える交通インフラ。当社はその電気設備を一手に手掛け、日本の交通システムの基盤を支えてきました。
駅の転落防止対策として進められている可動式ホーム柵は、1999年の東急目黒線の設置工事に携わって以来、主力業者の一つとして多くの鉄道会社の設置工事を行っています。
トンネル照明もLEDが主流となり、視認性の向上・長寿命化など交通インフラに欠かせない機能・性能を発揮し、
交通事故の削減や保守維持費の低減に貢献しています。

ホームドア据付工事

トンネル内LED照明設置工事



鉄道（公民鉄）

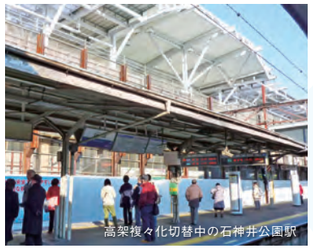
## 東急東横線

### ホームドア設置工事（工期：2015/11～2016/06）

都立大学駅は、8両停車駅上下線合わせて64ヶ所のホーム柵設置となっており、工事にあたっては補強構造に合わせた特殊基礎ベースを採用し、ホーム柵取り付け精度の向上と工期短縮に貢献した。

## 西武池袋線

### 石神井公園駅高架化に伴う通信工事（工期：2010/04～2014/10）



高架複々化切替中の石神井公園駅

切替後ホーム

1994年の富士見台駅～練馬高野台駅間を皮切りに、2015年1月に桜台駅～大泉学園駅間の高架複々線化工事が完了した。当社においても石神井公園駅高架化に合わせて、通信設備の支障移転や本設工事に携わった。

## 東京メトロ

### ホームドア設置工事（工期：2001/08～現在に至る）

丸の内線 / 西新宿駅

有楽町線 / 護国寺駅

銀座線 / 上野駅

副都心線 / 東新宿駅

新生テクノスは、「銀座線」、「丸ノ内線」、「東西線」、「有楽町線」、「千代田線」、「副都心線」のホームドアの設置工事を手掛け、首都圏地下鉄網の安全対策の一環に貢献している。

### 西船橋駅改良工事（工期：2013/03～2015/08）

当工事では電気室移転の他、ホームおよび自由通路・コンコースのLED照明化、駅員詰所・事務室の新改築に係る電力設備を担当。自由通路では調光センサーを取り入れ、ホームの約半分の屋根に太陽光パネルを設置し駅構内で消費するなど、省エネ・環境に配慮した設備となっている。



## 仙台市地下鉄 東西線

### 電車線路等設備工事（工期：2012/11～2015/03）

大町西公園駅から八木山公園駅間において、標高差が110mもあることから、急勾配にも対応出来るリニアモータ方式を採用。国際センター駅から大町西公園駅間にある広瀬川の橋梁は、仙台市のシンボルとなっていることから、景観を損なわないよう電車線支持物に特殊な色合いの亜鉛メッキ塗装を施している。

### 連坊駅等電気設備工事（工期：2013/02～2015/08）

駅内照明は営業時間中、常時点灯のため、省エネ長寿命のLED照明を採用した。トンネル内やホームにて火災が起きた場合には、給排気の向きなどを制御し、避難時間が充分確保出来る構造となっている。

## 空港

### 東京国際空港（羽田空港）（工期：2004年～現在に至る）

フライトインフォメーションシステム



LEDベース照明

第1旅客ターミナル、第2旅客ターミナル、国際線ターミナルにおける各種電気設備機器・配管配線類の新設・更新、及びテナント改修工事を手掛けている。コンコース照明の更新やセキュリティ設備の設置・リニューアルなど、絶えず休まない空港の電気設備を保守・メンテしている。

写真提供：東京国際空港ターミナル

### 中部国際空港（セントレア）（工期：2002/10～2004/09）

中部圏のハブ空港として2004年から運行しており、当社は旅客ターミナルビル共用部の電灯コンセント設備、並びにサブ変電所の幹線設備を担当。21世紀初の国際博覧会「愛・地球博」の開幕に合わせ、過酷な工程の中、このビックプロジェクトを完遂した。

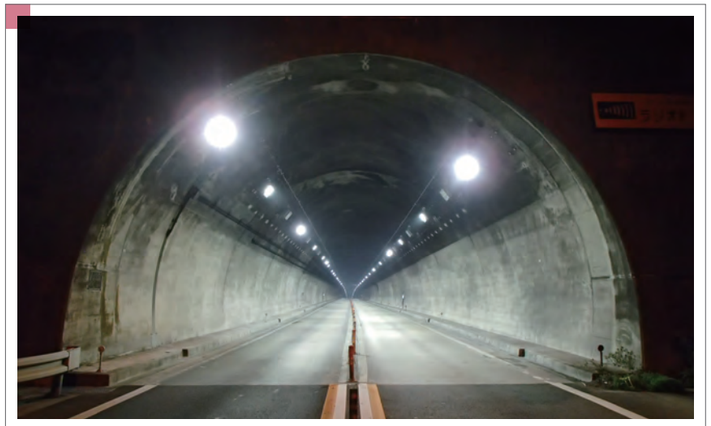
## 道路・トンネル

### 357号東京港トンネル（工期：2014/02～2016/03）

基本照明、入口照明共LED照明を採用し、視認性の向上とランニングコスト（電気使用料、長寿命化による保守維持費）の低減を行っている。

■施設場所：東京都品川区　■施工距離：1.9km（トンネル延長1.5km）　■取付照明台数：LED照明 201台 他

### 藤江トンネル・住吉トンネル（工期：2013/10～　2014/03）



LED照明に更新したことで、電気使用量を既存照明の4分の1に低減、約9万時間点灯と長寿命化となったことから保守維持費を軽減。

■施設場所：愛媛県大洲市
■施工距離：885m（藤江トンネル）、373m（住吉トンネル）
■取付照明台数：LED 照明256台

### 青葉山トンネル（工期：2016/06～2017/06）

アルミスリムタイプのLED照明を採用したことにより、重量を従来の3分の1に軽量化。これにより施工性の向上や落下等の危険性を軽減し、安全に配慮した設備となった。

■施設場所：宮城県仙台市　■施工距離：2.233m ■取付照明台数：272 台（基本 195 台、入口 65 台、避難所等 12 台）

# 安全への取り組み
## Commitment to Safety

当社では、「安全」は『会社経営上の最重要課題』として、
「安全最優先」を社是として掲げて、社員、協力会社の一人ひとりが安全を第一に、
謙虚に考え、真摯に行動する姿勢を実践することを目指しています。

### 安全推進体制

当社の安全推進体制は、本店、支店、営業所、協力会社（協力会社から更に二次、三次下請会社へ）で構成されています。本店の安全推進委員会（鉄道部門、一般部門別）では社長が議長として直近で発生した事故に関する原因分析とそれを踏まえた対策を議論し、会社としての対策を決定し、出席した支店長や支店安全管理部長等が支店の安全推進委員会で周知、支店内へ展開しています。更に、営業所の安全対策実行委員会で営業所所員へ展開しています。また、協力会社の主催の事故防止会議に出席し、事故防止指導を実施しています。
一方、事故発生時には緊急事故防止会議を開催し、事象の周知や対策の指示をするとともに、社内ポータルへの情報掲載や協力会社への展開も速やかに実施しています。また、協力会社の事故防止会議等では事故防止に関する意見等を聞き、社内へ展開しています。

2019年度全社安全大会（2019.4.16開催）

### 主な取り組み事例

**安全への取り組みを補完するツール**

鉄道工事関係では「安全ルールブック」と「基本動作ブック」、一般工事関係では「事例と教訓から学ぶ安全ルール」を活用して、日頃の事故防止教育を実施しています。

安全ルールブック

基本動作ブック

事例と教訓から学ぶ安全ルール

**安全に施工するための取り組み**

「安全施工検討会」は、協力会社の責任者クラスや安全担当者も出席して開催し、施工方法、施工段取り、使用重機・工具等の選定等を施工前に事前の検討を実施することで、施工の「安全性」を向上させることに取り組んでいます。検討した内容を「安全施工計書」へ反映することにより計画書の内容を深度化させています。

安全施工検討会

**各種事故防止教育**

安全に関する意識付けや過去の事故防止対策の周知などを役割別（工事指揮者、作業の責任者、作業員等）に実施する机上教育と、実際の作業を想定した各種訓練会（感電災害防止訓練、墜転落災害防止訓練、触車事故防止訓練、交通事故防止訓練）を定例的に各支店単位で実施しています。

感電災害防止訓練

触車事故防止訓練



# 技術力向上の取り組み
## Commitment to Improvement of Technology

充実した教育・研修体制で社員一人ひとりの成長をバックアップ。
教育・研修の場である研修センターでは、技術力向上や資格取得のための研修が行われています。
また日々の仕事を見つめ、業務の効率化や安全性の向上を模索、技術開発へと発展させています。

### 社員教育

電設業界において、個々の社員の技術力向上は不可欠です。継続的に技術・技能、統率力、規律、原価意識を兼ね備えた人材を育成し、階層ごとの教育や専門教育を行うことにより、幅広い知識を備えた人材を育成しています。

**階層別教育**
- 新入社員教育
- 新入社員フォローアップ教育
- 若手社員教育
- 中堅社員教育
- 早期管理職候補者教育
- 管理職教育

**部門別教育**
- 事務部門教育
- 営業部門教育
- 鉄道工事部門教育
- 一般工事部門教育
- プラント工事部門教育

**資格取得教育・奨励**
- 第一種電気工事士
- 1級電気工事施工管理技士
- 第三種電気主任技術者
- 消防設備士甲種第4類
- 工事担任者
- 1級管工事施工管理技士
- 2級計装士
- 第2種放射線取扱主任者
- 技術士補
- ビジネス実務法務検定3級
- 2級建設業経理士
- 日商簿記2級
- 第一種衛生管理者
- 玉掛け
- 第3級陸上特殊無線技士
- 列車見張員
- 小型移動式クレーン（1t以上5t未満）
- 危険物取扱者
- 工事技能者（幹・在）
- 検修技能者（幹・在）
- 停電工事責任者（幹）
- 保守用車運転者
- 配線技能者（WE,ME）
- 配線技能者（DD,MD）
- 土留め支保工作業主任者

**専門教育**
- 安全教育
- OJTリーダ研修
- 人事考課者研修

**OJT教育**

研修棟（2019年4月開所）

訓練棟

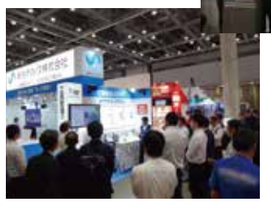
### 業務効率化への取り組み／電設工業展への出展

当社は、日々の現場作業を効率化、安全推進させるために、業務改善や技術開発を行っています。
年1回「全国業務研究発表会」を開催し、各支店部署から、選りすぐりの改善提案を募り、業務効率化・
原価低減・安全推進に繋げています。また優れた改善提案の中から技術開発へと繋ぎ、以下の商材を開発・販売しています。

**取扱販売品目**
- □ レーザー式建築限界測定装置「限界チェックマンII」
- □ レーザー式架線測定器「電車線チェックマン」
- □ RFIDタグ持出返却管理/持込工具管理/工具現地確認システム「タグチェックマン」®
- □ タブレット設備点検管理システム「設備チェックマン」®
- □ 電気転てつ機ロック調整確認装置「転てつ機ロックモニタ」
- □ FTB端子短絡防止「M6用端子キャップ」
- □ トランス端子保護カバー

2019年4月現在

業務研究発表会風景


JECA FAIR 2019出展風景

当社としては、これらを電設業界の最たる展示会である
「JECA FAIR」（電設工業展）に出展し、当社の技術力・提案力を
提示すると共に、更なる業務改善、現場での応用力に磨きを掛けています。